

さとう ともお
佐藤 哲夫さん

2011 年度 2 次隊 シニア海外ボランティア

派遣国：チリ 職種：行政サービス

2020 年 7 月 12 日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

心通わせる交流 大切に

スペイン語通訳ボランティアに取り組んでいる。チリでの活動中に習得したスペイン語を生かした社会還元活動をしたと考えたからだ。2018 ひろしまフラワーフェスティバル（FF）に参加したメキシコ・グアナフアト文化交流団や、東京五輪・パラリンピックに向け広島県で事前合宿をしたメキシコ選手団の語学ボランティアに就いた。

2011 年 10 月から 13 年 10 月まで、JICA シニアボランティアとしてチリ厚生省に配属された。全国 15 州の食品安全管理監査官の技術向上のためのプ

ログラム開発・実施に携わった。厚生省食品栄養部の職員と十分に意見交換した。監査モデルを 33 枚の写真で説明したり、監査項目間の有機的関連がよく分かる一覧表を作ったり。視覚に訴えて技術を伝達する方法を工夫した。

一貫して留意したことは人と人との信頼関係を築くことだ。朝のあいさつに始まる取り組みで積極的にコミュニケーションを取り、職場をはじめ多くの人と交流を深めた。おかげで 2 年間は大変充実したものとなった。

今、語学ボランティアとして一番大事にしているのは、JICA ボランティアで経験、習得した「コミュニケーションを大切にする」ということだ。私は語学ボランティアは、いわゆる民間外交の一つであると捉えている。単に言葉を翻訳して伝えるだけでなく、意思の疎通、心の通い合える付き合いができるよう心掛けている。



食品安全管理の監査結果について協議する関係者